

請求の範囲

- [請求項1] 次の成分（a）～（c）を含有し、pH10以上である、水処理剤。
- （a）クロラミン化合物
- （b）臭化物塩
- （c）ポリマー中のカルボキシル基含有率が0.8g-COOH/gポリマー以下であるカルボキシル基ポリマー1～18質量%
- [請求項2] 前記クロラミン化合物と前記臭化物塩のモル比が、1：0.1～1.0である、請求項1記載の水処理剤。
- [請求項3] 前記水処理剤が、スライムコントロール用、防食用又はスケール防止用の少なくとも何れかである、請求項1又は2記載の水処理剤。
- [請求項4] 前記水処理剤中の前記（a）クロラミン化合物及び前記（b）臭化物塩が、アルカリ剤、安定化剤及び臭化物塩を混合した混合溶液と、酸化剤と、を混合して得られるものである、請求項1～3の何れか記載の水処理剤。
- [請求項5] 前記水処理剤が、製造後における全塩素検出率が95%以上かつ全塩素濃度中の遊離塩素含有率が0.05%（as Cl_2 ）以下である、請求項1～4の何れか記載の水処理剤。
- [請求項6] アルカリ剤、安定化剤及び臭化物塩を混合した混合溶液と、酸化剤と、を混合する、水処理剤の製造方法。
- [請求項7] 前記安定化剤が、スルファミン酸化合物である、請求項6記載の水処理剤の製造方法。
- [請求項8] 前記酸化剤が、塩素系酸化剤である、請求項6又は7記載の水処理剤の製造方法。
- [請求項9] 前記混合溶液のpHは、13以上である、請求項6～8の何れか記載の水処理剤の製造方法。
- [請求項10] 前記混合溶液は、前記臭化物塩として粉末臭化物塩を混合したものである、請求項6～9の何れか記載の水処理剤の製造方法。

- [請求項11] さらに、カルボキシル基ポリマー 1 ～ 18 質量%になるように混合し、当該カルボキシル基ポリマー中のカルボキシル基含有率が $0.8 \text{ g-COOH} / \text{g-ポリマー}$ 以下である、請求項 6 ～ 10 の何れか記載の水処理剤の製造方法。
- [請求項12] アルカリ剤、クロラミン化合物、及び臭化物塩を含む水処理剤であり、
製造後における全塩素検出率が 95 % 以上かつ全塩素濃度中の遊離塩素含有率が 0.05 % (as Cl_2) 以下である、水処理剤。
- [請求項13] 前記水処理剤が、アルカリ剤、安定化剤及び臭化物塩を混合した混合溶液と、酸化剤と、を混合して得られる、請求項 12 記載の水処理剤。
- [請求項14] 前記水処理剤の pH が 13 以上である、請求項 13 記載の水処理剤。